
プロジェクト **ASAF 対応**

項目 **2013 年 9 月の ASAF 会議への対応**

本資料の目的

1. 本資料は、ASAF 対応専門委員会における検討状況について報告を行うとともに、検討を行っている個別の論点についてご意見をいただくことを目的として作成している。
2. ASAF 対応専門委員会は、次の通り、専門委員会を開催し、ASAF 会議に向けた検討を行っている。
 - 第 1 回：6 月 20 日¹
 - 第 2 回：7 月 29 日
 - 第 3 回：8 月 26 日
 - 第 4 回：9 月 13 日（予定）

2013 年 9 月に開催予定の ASAF 会議における議題

3. 2013 年 9 月 25 日及び 26 日に開催予定の第 2 回 ASAF 会議（ロンドン）における議題は、次の通りである。
 - 金融資産の減損
 - リース
 - 保険
 - マクロヘッジ
 - 開示
 - 概念フレームワーク（慎重性について）
4. 上記のうち、金融資産（減損）については、7 月 5 日に IASB にコメントレターを提出済である。
5. 改訂公開草案が公表されているリース及び保険に関しては、それぞれの専門委員会で議論を行い、公開草案に対するコメント対応を開始している。このため、8 月 26 日に開催された ASAF 対応専門委員会では、これまでの検討状況の報告を行っている。
6. マクロヘッジに関しては、本年第 4 四半期にディスカッション・ペーパーが公表される予定であり、9 月 13 日に開催予定の ASAF 対応専門委員会において、審議するこ

¹ 専門委員会等の開催年度について、特に記載がない場合、2013 年を指すものとする。

とを予定している。

7. 開示については、7月29日に開催されたASAF対応専門委員会において、IASB開示フォーラムのフィードバック文書について概要説明を行っている他、9月13日に開催予定のASAF対応専門委員会において、9月のASAF会議に関する追加資料について審議を行うことを予定している。
8. 概念フレームワークについては、第1回から第3回のASAF対応専門委員会において審議を行っている。また、第271回企業会計委員会において、概念DPにおける論点の中でも、国内関係者の関心が特に高い当期純損益とその他の包括利益（セクション8）及び測定（セクション6）に関する点に関して審議した。

今回の委員会における審議事項

9. 親委員会においては、減損、リース、保険については、別途ご審議をいただいている。本委員会では、開示（豪州会計基準委員会が公表した小論文及び開示フォーラムに関するフィードバック文書）、概念フレームワーク（慎重性）及びマクロヘッジに関して、審議事項(1)-2及び(1)-3、(1)-4、並びに(1)-5の資料によりご審議をいただきたい。

以 上